

## 草地生産性向上対策事業・リスク分散型草地改良推進事業

### 事業内容

- ・サブソイラ等による耕盤層の破碎により圃場の排水性を改善。  
上記の手法を用いて草地更新を行い、単位面積あたり収量を25%以上増加する。

### ○取組事例紹介

美留和地区 梅津 康博

リスク分散型草地改良（耕盤層の破碎による圃場の排水性の改善）

面積	15.92ha
事業実施期間	令和2年4月～令和2年10月
施工者	自己、JA（除草剤散布のみ）
土壌硬度測定方法	デジタル貫入式土壌硬度計 DIK-5531 使用（農家・普及センター・JA 立会）

### 行程

①令和2年4月22日	耕盤層破碎
②令和2年4月23日	土壌硬度測定（転換前：1,735kpa）・耕盤層破碎
③令和2年4月30日	耕起
④令和2年5月1日	耕起
⑤令和2年5月8日	碎土（1回掛け）
⑥令和2年5月19日	碎土（2回掛け）・鎮圧（1回目）
⑦令和2年5月20日	施肥播種・鎮圧（2回目）
⑧令和2年6月27日	追肥（補助対象外分）
⑨令和2年7月10日	コントラ除草剤散布（ゲザプリムフロアブル・ワンホープ乳剤）
⑩令和2年9月23日	土壌硬度測定（転換後：1,145kpa）

### 効果の検証

サブソイラを使用して耕盤層の破碎を行い、排水性改善に取り組んだところ、弟子屈町は全体的に干ばつに見舞われ収穫までに台風等による降雨の被害は発生しなかった。収穫後の10月12日に降雨があり、事業実施ほ場の隣接ほ場では、水たまりが発生していたが、事業実施ほ場には水たまりが無かった。このことから、耕盤層破碎による排水性改善効果が確認できました。

施工前



耕盤層破碎



施工後

